

美術館コレクション 88



きとうなべさぶろう
鬼頭鍋三郎 (1899~1982年)

《舞姿》

1981年 油彩・キャンバス

舞妓の凛とした舞い姿を捉えた、緊張感のある作品です。白塗りの顔と華やかな着物に隠れている、舞妓の静かな気品まで感じられます。作者の鬼頭は、堅実な写実表現による優美な女性像で、日展などを中心に中部洋画壇の重鎮として活躍しました。「華やかさの中に秘めたしんとした美しさ」に惹かれ、1960年代から亡くなるまで描き続けた舞妓は、「鬼頭の舞妓」といわれるほど代表的なモチーフとなりました。

問 美術館 (☎23-1636)

4/7日までの
常設展で紹介!

歴史散歩 232



城池(中堀) 亀城公園

(城町1丁目)

亀城公園の東に噴水のある池があります。これは江戸時代刈谷城の堀だったもので、当時は中堀と言われていました。堀は城の守りを固めるものです。明治7年の取り調べでは面積が4反3畝10歩(約4290㎡)とあります。当時の城絵図と比較してみるとほぼ同じ形で残されていることが分かります。この池は昭和34年に護岸工事が行われたほか、昭和46年には子ども会育成連絡協議会によって果城池と決まっています。

～3月24日、逢妻町に
刈谷市歴史博物館が開館します～

かりやの風景 196

リサイクルプラザ「エコくる」(逢妻町)

リサイクルプラザ「エコくる」は、平成11年に清掃センター2階に開設され、平成26年に環境センター2階への移転を経て、今年で20周年を迎えます。家庭で不要になった日用品などを持ち込み、安価な値段で展示販売するリサイクルショップ、「あげます・譲ります」「買います・ください」の情報を掲示する情報コーナー、古布類の回収ボックスなどがあります。

情報コーナーでは、リサイクルショップに出品できない大きな物の情報を掲示し、本人同士で相談し品物を引き渡します。

※詳しくは、市HPをご覧ください。

開館時間 10時～16時(※月曜(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月4日)

問 リサイクルプラザ「エコくる」(☎21-6020)

